

会 議 録 要 旨

会議名	令和3年度 第6回藤沢市下水道運営審議会		
開催日時	2021年（令和3年）11月1日（月）午前10時00分～午後00時02分		
開催場所	本庁舎5-1, 5-2会議室		傍聴者数
			0人
出席者	会長	杉渕 武	
	委員	井上 美鈴 小野島 真 齋藤 力良 重田 和恵	
		野牧 喜久江 深澤 潤子 三輪 晋 矢出 乃大	
事務局	鈴木市長 鈴木下水道部長 [下水道総務課] 近藤参事・指旗主幹・濱野主幹・細谷主幹・小川補佐・利根補佐 外山専任補佐・矢口上級主査・三澤上級主査・吉原専任上級主査 松本主査・松田主任・田中担当・茂垣担当 [下水道管路課] 中村課長・藤原補佐・鈴木補佐・小松補佐 [下水道施設課] 竹内辻堂浄化センター長・一ノ瀬大清水浄化センター長 佐藤補佐		
議題及び公開・非公開の別	1 今後の下水道事業における整備と運営のあり方について ふじさわ下水道ビジョンの見直しについて【答申】 2 中期経営計画の策定について 3 下水道使用料のあり方について 4 令和2年度藤沢市下水道事業費特別会計決算について （すべて公開）		
非公開の理由			
審議等の概要	<p>《議題》</p> 1 今後の下水道事業における整備と運営のあり方について ふじさわ下水道ビジョンの見直しについて【答申】 藤沢市下水道運営審議会会長から答申を受けた。		
	<p>《議題》</p> 2 中期経営計画の策定について 資料1-1に基づき、評価委員会による重点施策（候補）の選定結果について説明。		
	<p>【質疑】</p> (1) 重点施策（候補）の中に、ビジョンの基本方針3「美しく豊かな環境づくり」に関するものがないが、4つの基本方針の柱のうちのひとつであるため、何か生かせるような形を考えられないのか。重点施策から抜けてしまうことに関して議論はなかったのか。		
	<p>《回答》</p> 予算の枠として重点施策のフレームを作り、この優先順位がAランクの施策を推進していきます。ご意見の基本方針3関連を含むその他の施策に関しては、重点施策枠以外の経常予算枠の中で推進を図ってまいります。		
	<p>【会長から補足】</p> 新エネルギー等の導入・活用や循環型社会に向けた資源再利用は、当然大事な点で将来的に見て今から手をかけていくべきで、このような施策は進めてほしいという意見がありました。また、放流水質の適正維持についても環境問題として非常に重要で、通常の維持管理予算になりますが大事な点だと思います。重点施策としては入っていませんが、通常的な施策の中できちんと進めていただきたいと思います。		

<p>審議等の概要</p>	<p>(2) スtockマネジメントの費用は、収益的支出と資本的支出の両方にあるが、この費用の分け方は何か。</p> <p>《回答》 収益的支出は、点検・調査を行う費用、調査をして修繕を行う費用です。 資本的支出は、改築の費用です。</p> <p>(3) 資料P17右の下段でR3予算では水質改善の費用がかなり大きいのはなぜか。</p> <p>《回答》 辻堂浄化センター雨水滞水池建設工事委託で令和5年度までの継続事業です。</p> <p>(4) 水質改善の効果を説明してほしい。</p> <p>《回答》 雨天時に川・海へ流れる水質を、分流式下水道並みに汚濁負荷を下げ、公共用水域の水質の維持を図るものです。</p> <p>(5) 東京湾の場合、東京湾に排水を流す自治体には排水基準が設定されているが、相模湾には国の環境基準以外に水質基準があるのか。</p> <p>《回答》 相模湾の水質基準は、国の環境基準のみです。</p> <p>(6) スtockマネジメントの中で民営化はどのようなことをイメージしているのか。</p> <p>《回答》 処理場の民営化は、現在仕様書発注している運転管理委託に加えて、修繕、工事、維持管理の運転など管理自体を民間に委託していくことを考えています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>評価委員会で候補となった重点施策の優先順位を決定した。</p> </div> <p>《議題》</p> <p>3 下水道使用料のあり方について</p> <p>資料2、参考資料2に基づき説明。</p> <p>【質疑】</p> <p>(7) 資産維持費の導入について、ビジョンの中で議論しなかったのはなぜか。 また、資産維持費の導入を議論するには、地形との関連性、人口密度、管路網密度により下水への負荷が変わってくることから、藤沢市の特徴が把握できる資料で慎重に議論すべきだと思います。</p> <p>《回答》 資産維持費は、下水道使用料の対象経費の一つの課題と考えております。まずビジョンの議論、中期経営計画の議論を進めさせていただき、その次に本議題に取り組むこととなりました。今後の議論の中で、藤沢市の特色が分かるよう比較ができるものを必要に応じお示しします。 ビジョンにおいて、経営基盤の強化に向けた課題解決の方向性としまして、コストと受益者負担の適正化、収入の確保、持続可能な運営形態の構築を挙げています。収入の確保として使用料は大きな問題であり、解決方法の一つとして資産維持費を取り上げさせていただきましたが、資産維持費だけではなく様々な観点から今後議論させていただきたい。</p> <p>(8) 資産維持費について、議会の中で質問があったことがあるのか。</p> <p>《回答》 Stockマネジメントの説明の際、将来費用がかかるという課題がある中で、収入確保の観点から、資産維持費の導入という考え方があるということを委員会で答弁しています。</p> <p>(9) 資料2参考資料で改定した場合の影響がでていますが、まずは具体的に何をして、いくら必要なかが示されて、改定率がでると思います。市民全体で老朽化、水質、環境の問題を考えるよう、広報活動も併せてしていくことが重要だと思います。</p>
---------------	--

<p>審議等の概要</p>	<p>《回答》 資料1 P 18～19において参考資料として、所要額調査を現段階で行いこの先10年間の支出額を掲載しています。今後、中期経営計画を策定していく中で、支出の内容を精査し収支のシミュレーション等を示させていただきます。</p> <p>(10) 資産維持費は、経営の安定化を考えると検討しなければならないと思いますが、これは施設の更新費用なので資本的収支に計上されるべきではないか。</p> <p>《回答》 資産維持費分は、下水道使用料として収入されるものなので収益的収支に計上され、直接資本的収支の財源不足にあてることができません。そのため収益的収支でた利益を積立金とし、資本的収支の財源不足に充てることになります。</p> <p>《議題》 4 令和2年度藤沢市下水道事業費特別会計決算について</p> <p>資料3に基づき説明。</p> <p>【質疑】なし</p>
<p>その他</p>	<p>(1) 藤沢市下水道運営審議会日程について 参考資料に基づき説明</p>